

産業研究所講演会

なぜベルギーはテロの温床となったのか？

10/14(土)西宮上ヶ原キャンパス図書館ホールで

関西学院大学産業研究所は10月14日(土)、西宮上ヶ原キャンパスの図書館ホールで、講演会を開催します。

多言語・多民族の「共存」を矜持としてきたベルギーは、なぜ「テロの温床」と化したのか？講演会では、先行研究を整理しながら、ベルギーが進めてきた「連邦制導入改革」に注目して、その要因を考察します。

※一般参加可、無料、事前申し込み不要。

■日時:10月14日(土)15時10分～16時40分

■場所:図書館ホール
(西宮上ヶ原キャンパス)

■題目:試論 なぜベルギーはテロの温床となったのか
—もうひとつの『連邦制の逆説』—

■講師:松尾秀哉・北海学園大学法学部教授

■問い合わせ:産業研究所 TEL:0798・54・6127

10/16(月)神学部秋季学術講演会
「97箇条の提題」

過激なアウグスティヌス主義者としてデビューしたルター

今年、ルターの宗教改革から500年の記念の年であることを受け、関西学院大学神学部は10月16日(月)、関西学院大学神学研究会と共催で、ルーテル学院大学名誉教授の鈴木浩氏を招いて、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館で秋季学術講演会を開催します。

※一般参加可、無料、事前申し込み不要。

■日時:10月16日(月)13時30分～15時

■場所:関西学院会館・光の間
(西宮上ヶ原キャンパス)

■題目:「97箇条の提題」—過激なアウグスティヌス主義者としてデビューしたルター—

■講師:鈴木浩氏

(ルーテル学院大学名誉教授 ルター研究所所長)

■問い合わせ:神学部事務室 TEL:0798・54・6200

ストリートダンス世界大会のアジア代表に
来年8月開催の世界大会へ！

(写真:右から2番目が佐藤さん)

佐藤正隆さん(理工学部人間システム工学科4年生)らのチームが、韓国で8月25～27日に行われたStreet Dance World Cupのアジア予選POPPING4vs4部門で優勝しました。来年8月に韓国で開催される世界大会「Keep On Dancing」の出場を決めました。

予選はアジア6カ国が出場、3カ国ずつのリーグ戦を勝ち抜いた。佐藤さんたちのチームは決勝でオーストラリアのチームと対戦。見事に勝利しました。

佐藤さんは「前回の大会ではアジア予選にすら出場できなかったのが、今大会でアジア代表に選ばれたことに喜びを感じています」と振り返っています。

理工学部生の佐藤さんは、ストリートダンスを趣味・ライフワークとして捉えるだけではなく、研究テーマにもしました。人間が運動する時の動きは、足の裏にかかる圧力に関係すると考察。これを解明することで、ダンス技術の向上につながるかと考え、研究室の指導教員である井村誠孝教授のもと研究をすすめました。

「明るい結果はまだ出ていませんが、自分が好きなことを研究材料にできたことに喜びを感じています」と話します。

佐藤さんがストリートダンスに興味を持ち始めたのは小学生の時にテレビで観たマイケル・ジャクソンのムーンウォーク。マイケルのダンスに衝撃を受けた佐藤さんは、友達とダンスに熱中するようになりました。高校入学時、ダンス部への入部を躊躇して断念しました。関西学院大学へ入学後は「ダンスサークル“Ney-Kid”」へ入部。

「高校時代に入部しなかったことを後悔しましたが、このことが糧になり大学では日々練習を重ね技術を磨きました。この成果を発揮すべく、来年の世界大会では頂点にのぼりつめたい。同時に国際経験も身に付いたので、ダンスの技術とともに人間性も高めていきたいです」と意気込んでいます。